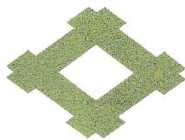


系文



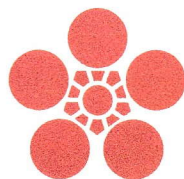
(千なり瓢箪)
ちなりひょうたん



(井桁)
いげた



(立ち沢瀉)
おもだか



(梅鉢)
うめばち



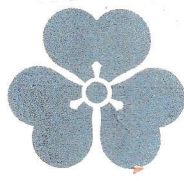
(遠い鷹の羽)
たか たか は



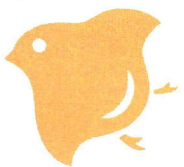
(壽の字海老)
じゆ じえび



(下がり藤)
さ ぶら



(片喰)
かたばち



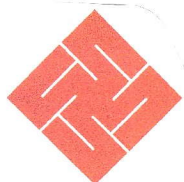
(千鳥)
ちどり



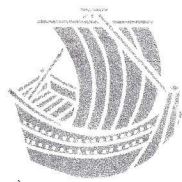
(抱き茗荷)
たか みよが



(雁金)
かりかね



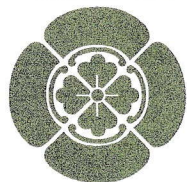
(隅立て七くずし)
すみだて



(帆掛船)
ほかけふね



(左三つ巴)
ひだりさんつぱ



(四方木瓜)
しほうもくこ



(木扇)
たきあし

文様は (簡素) で洗練された形をしており、衣類や
 工芸品、(建築) などにも幅広く用いられています。
 和の文様は豊か植物や (自然現象) などを元につくられていますか、
 すべての起源が日本だけでなくアジアや (中国) などに由来するものもあります。
 系文は 武将や商店、歌舞伎役者などを (識別) する
 (シンボルマーク) として発達しました。これらは円や
 正方形におさまるように (凝縮) し、小さくともよくわかる
 工夫がなされています。